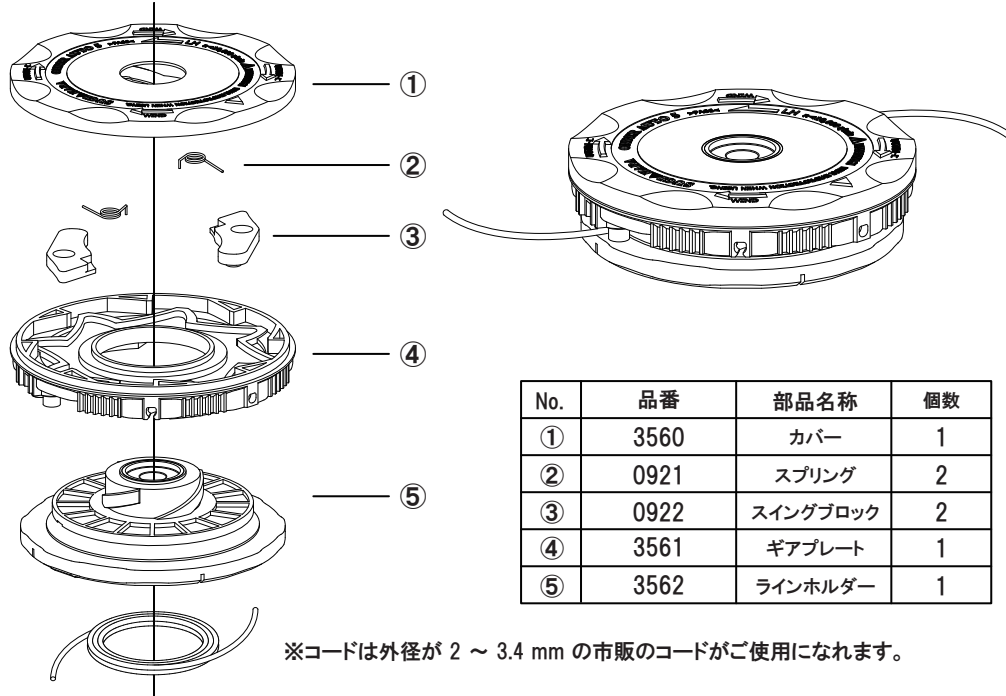


分解無しでコード交換・地面スレスレを刈れる・コード繰り出しは全自動

フルオートスリム GA-02

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよくお読み頂いて、正しい操作と点検を充分ご理解され、機能を最大限に活用し、快適な操作をしていただきますようお願い申し上げます。



No.	品番	部品名称	個数
①	3560	カバー	1
②	0921	スプリング	2
③	0922	スイングブロック	2
④	3561	ギアプレート	1
⑤	3562	ラインホルダー	1

※コードは外径が 2 ~ 3.4 mm の市販のコードがご使用になれます。

警告 正しくお使いいただくために

＜ご使用になる前に＞

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり製品の機能と取扱い上の注意事項を充分ご理解ください。
- 本製品は、地表の雑草を刈るカッターです。それ以外の用途（木材の切断や植え込みの剪定など）に使用しないでください。
- この取扱説明書の内容を理解されていない方やお子様には、絶対に本製品をご使用させないでください。
- 他の人に貸す場合は、この取扱説明書の内容を説明するか、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- この取扱説明書は、いつでも必要に応じて見る事ができるように、大切に保管してください。
- ご使用の刈払機の取扱説明書に記載の注意事項も、必ず守ってください。
- ▲取扱い上の注意事項をよくご理解いただきませんと、怪我をしたり、早期破損・故障などのおそれがあります。



取扱説明書
を読むこと



＜毎作業前の注意事項＞

- コードカッターによる草刈作業は小石などが飛散します。
- ①飛散物から身を守るために
 - 「そで締りのよい長そで」・「すそ締りのよい長ズボン」を着用してください。
 - ヘルメット・保護メガネ・保護手袋・保護長靴・すねあてなどの保護具を着用してください。
 - 刈払機には必ず、適切な位置に飛散防護カバーを装着してください。
- ▲各保護具を着用されませんと怪我や失明をするおそれがあります。
- ②カッター本体の分解・破損・飛散を防止するために
 - カバーとラインホルダーがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ▲締まっていないと使用中に分解し部品が飛散して、部品の紛失や怪我をするおそれがあります。
- ラインホルダーの摩耗度合いを点検してください。
- 使用限界マークが消えたり、金属部が無くなったら必ず新しい新品と交換してください。地面を擦って使用すると摩耗が早まる場合があります。（図1）
- カッター本体のカケやヒビ割れを点検してください。カケやヒビ割れのある部品は、必ず「新しい部品」と交換してください。（図1）
- 刈払機とカッター本体の取付けを点検し、ゆるんでいれば締め直してください。
- カッター本体を手で回して振れや異音が無いか点検してください。振れや異音は回転中の異常な振動や、刈払機との取付けのゆるみなどの原因となります。（図2）
- ▲そのままご使用になれますと使用中に分解し部品の紛失や怪我をするおそれがあります。また、刈払機の故障の原因にもなりますのでご注意ください。
- カバーとギアプレート、ギアプレートとラインホルダーの間にゴミなどが侵入すると、ギアプレートの回転に支障をきたす恐れがあります。作業前にギアプレートがスムーズに回転することを確認してください。
- スムーズに回転しない場合は、ゴミを除去してください。

＜作業中の注意事項＞

- ③各種飛散物から人や物品を守るために
 - 周囲の物品や状況に充分注意して、半径15m以内に人がいないことを確認してご使用ください。
- ▲小石などの飛散物が周囲の人や物に当たって負傷及び損害を与えるおそれがあります。
- ④本製品の早期摩耗・破損を防ぐために
 - カッター本体を「毎分10,000回転以上」で回さないでください。
 - カッター本体を石・コンクリート・木の株・ピンなどの硬質な異物にぶつけないよう注意してください。
- ▲硬い物に強く打ち当てたり、ぶつかけたりしますと、本製品の早期破損の原因となります。
- カッター本体は地面より浮かしてご使用ください。
- 異常な振動や音などが出た場合、直ちにエンジンを停止し、点検・修理を行ってください。
- ▲そのまま使用しますと、危険です。
- 草やツルなどが巻き付いた場合は、直ちにエンジンを停止して草等を取り除いてください。
- ▲そのまま使用しますと、危険です。
- ⑤身を守るために
 - 草やツルなどの巻き付を取り除く時、またナイロンコードの取換えや巻き直し、その他点検の際には必ず刈払機のエンジンを止めカッター本体の回転が停止したのを確認してから行ってください。
- ▲回転中に手足などを近づけるのは危険です。

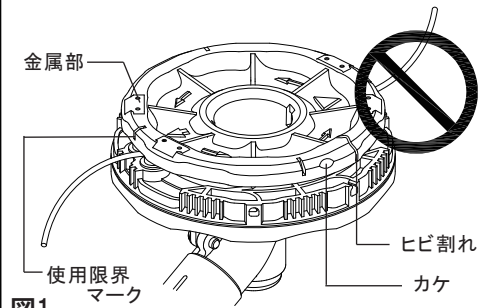
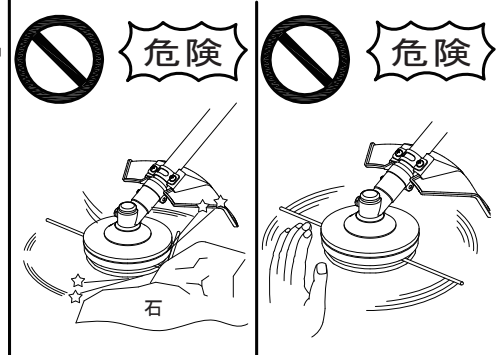


図1



図2



発売元



株式会社 山善

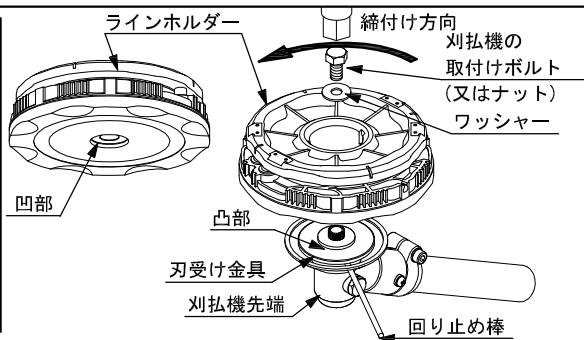
〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9山口ビル7 6階
お客様相談窓口フリーダイヤル ☎0120-069-060
(AM9:00~PM5:30 土・日・祝を除く) <http://www.yamazen.co.jp>

1. 取付け方法

- ①ラインホルダー中央の凹部を刈払機の刃受け金具の凸部に正しくはめてセットしてください。
- ②刈払機の刃受け金具の回り止めをして、刈払機の刃刈取付けボルト（又はナット）を確実に締付けてください。

＜▲注意＞

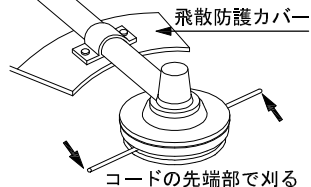
- 取付ボルト（又はナット）は刈払機の純正部品を使用します。
- 締付け後、カッター本体を手で回して振れや異音が無いか点検してください。
- 刈払機純正部品の刃押え金具は使用しないため、大切に保管してください。



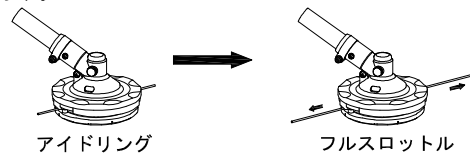
2. 使用方法

★本製品は、草刈作業中にコードが短くなると自動的に繰出す、「全自動繰出し式」のコードカッターです。

1. 作業は先端部回転数を毎分6,000回転以上で行ってください。前方のコード先端部で刈ると効率よく作業できます。
2. 万一、自動繰出しされない場合は、一度エンジン回転を十分に下げ（アイドリング状態）、再度回転を上げれば（フルスロットル）、自動繰出しが行われます。



※低回転では「コードの張り」が弱い
ため草刈効率が悪くなります。

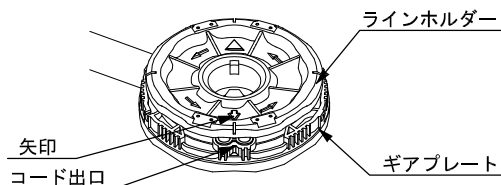


コードが極端に短くなって「2.」の操作を行っても繰りだしされない場合は、コードを使い切ったか、コードの絡み・溶着が考えられます。エンジンを停止し、『3. ナイロンコードの取換え方法』に従い、コードを巻き直してください。

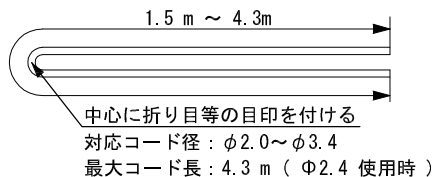
3. ナイロンコードの取換え方法

＜▲注意＞ ●必ず刈払機のエンジンを止め、カッター本体の回転が停止した後、行って下さい。

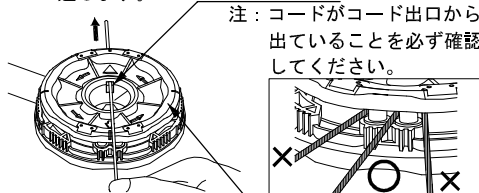
- 【1】ラインホルダー下面の矢印とギアプレートのコード出口の位置を合わせます。



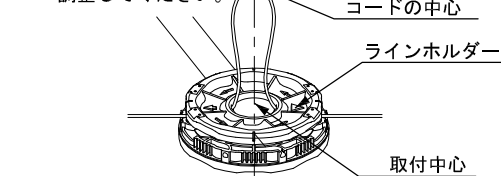
- 【2】1.5m～4.3m のコードを1本用意し、コード全長の中心に折り目、結び目等の目印を付けます。



- 【3】ラインホルダー下面の中央のコード通し口からコードを差し込みコード出口から出るように通します。

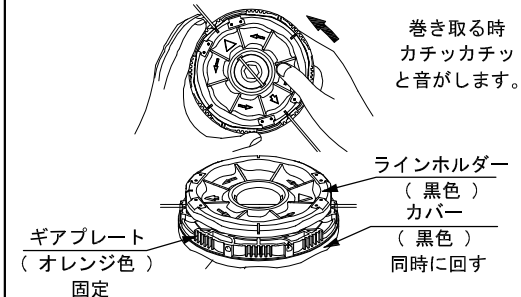


- 【4】反対側も【3】と同様にコードを通します。この時、コードの中心（【2】の目印）がラインホルダーの取付中心になるように調整してください。

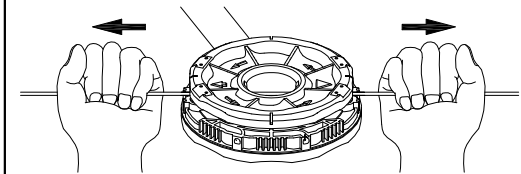


◎ ご使用コードが丸コード以外の場合

- 【5】中央のギアプレート（オレンジ色の部品）を片側の手で固定し、カバー と ラインホルダー（上下で黒色の部品）をもう片方の手で矢印の方向へ同時に『カチッ』と音が 4回 鳴るようにコードを巻き取ります。

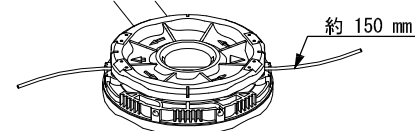


- 【6】コードを引張ってコードの緩みを取り除きます。



- 【7】『【5】【6】』を 4 回ほど繰り返してください。

- 【8】その後、コードがコード出口から 約 150 mm 出ている状態になるまで巻き取ってください。

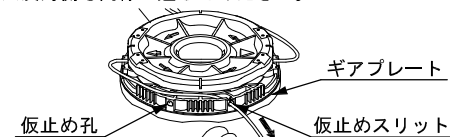


【注意】

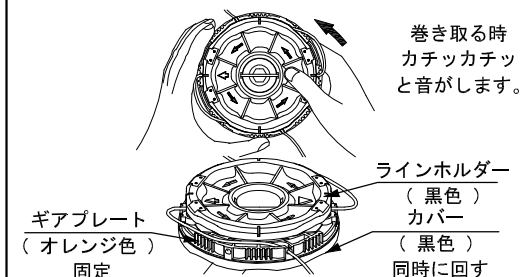
※左右でコードの長さが違う場合は切り揃えて使用してください。
※巻き取りすぎるとコードがラインホルダー内に入ってしまう。
巻き終り時は、十分に注意して巻き取ってください。
※コードの巻き量が多い時は巻き取れなくなるので、十分に注意してください。

◎ ご使用コードが丸コードの場合

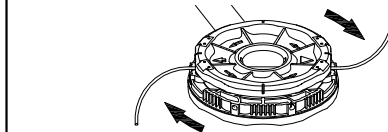
- 【5】コード出口から出たコードをギアプレートの外周面にある仮止めスリット または 仮止め孔 に通してください。
※反対側も同様に通してください。



- 【6】中央のギアプレート（オレンジ色の部品）を片側の手で固定し、カバー と ラインホルダー（上下で黒色の部品）をもう片方の手で矢印の方向へ同時に『カチッ』と音が鳴るようにコードを巻き取ります。



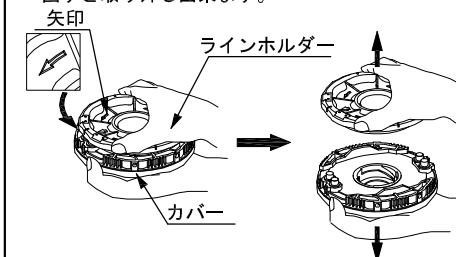
- 【7】仮止めスリット または 仮止め孔 からコードが外れたら巻き取り完了です。



4. 分解・組立手順

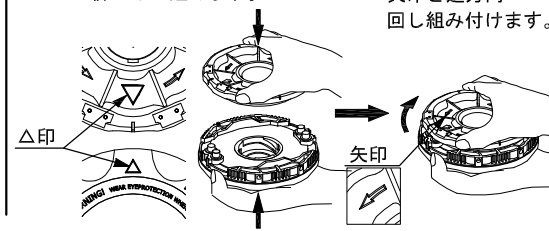
分解方法

カバーを固定し、ラインホルダーを矢印の方向へ回すと取り外し出来ます。



組立方法

- 【1】ラインホルダーとカバーの△印の方向を併せはめ込みます。



- 【2】カバーを固定し、ラインホルダーを矢印と逆方向へ回し組み付けます。